

統計でみる新型コロナの英国 ビジネスへの影響

英国の新型コロナ死者が3万人を超える

欧州各国では新型コロナウィルス感染拡大がピークアウトし、段階的に社会経済活動を再開する動きが見られ始めましたが、英国では5月6日に新型コロナによる死者数が3万人を超え、イタリアを抜いて欧州で最悪、世界で2番目となりました。3月23日に外出禁止令を発出してすでに7週目に入っていますが、感染者数は7日も5,614人増え、累計で20万6,715人となっています。

【3月20日よりパブも営業禁止】



ボリス・ジョンソン首相は、10日に外出禁止令の緩和計画について発表を行う予定ですが、今の段階で緩和に向けて舵を切ることは時期尚早と予想されています。

【外出禁止で乗客がほとんどいないロンドン市内の電車】



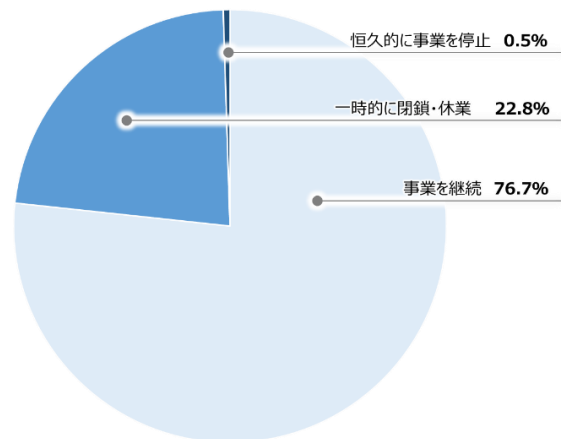
事業者の2割超は一時閉鎖・休業

英中央銀行であるイングランド銀行は7日、2020年の英国の実質国内総生産（GDP）が前年比14%減になると発表し、経済活動への影響も深刻さを増しています。

また、英国家統計局（ONS）は7日、全国の多数の企業を対象に実施している「新型コロナによるビジネスへの影響調査」の結果を公表しました。

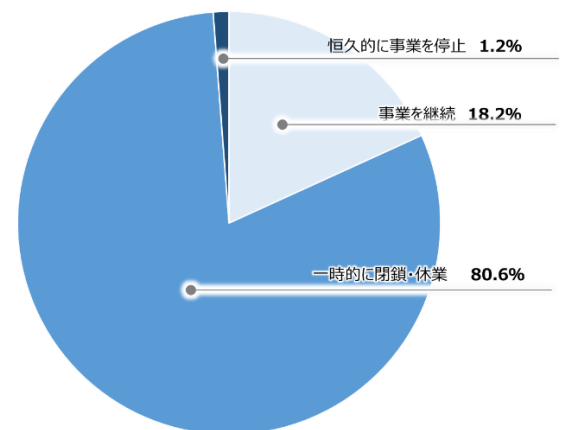
英国家統計局が4月6日から19日までの期間に6,114社から回答を得た結果によると、22.8%の事業者が事業を一時的に閉鎖・休業、0.5%の事業者は廃業を余儀なくされています。

■ 事業者の事業継続状況（4月6日～19日）



とりわけ深刻な産業は、「ホテル等の宿泊施設、レストラン等のフードサービス」で、80.6%もの事業者が一時的に閉鎖・休業しています。

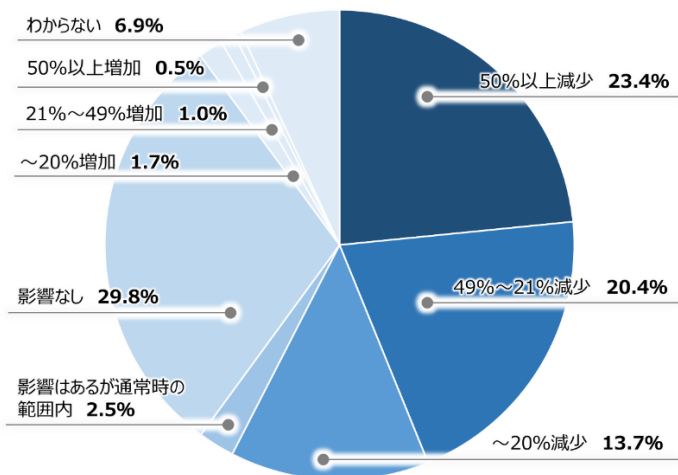
■ ホテル、レストランの事業継続状況（4月6日～19日）



売上高への影響

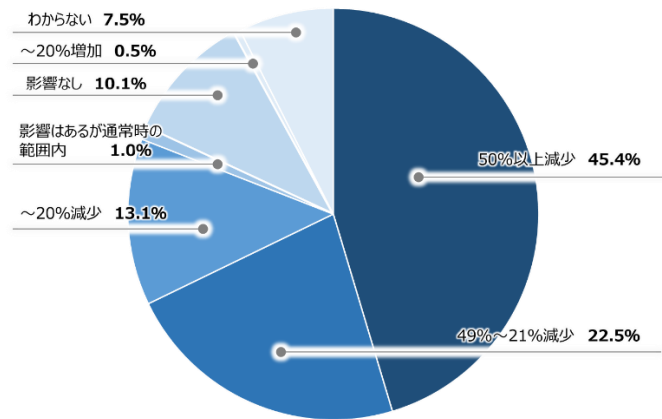
売上高は、全産業で全体の約6割が減収、4割以上の事業者は20%を超える大幅な減収となっています。

■ 売上高の状況（全産業）



産業別にみると、建設業が最も売上高の落ち込みが激しく、8割を超える事業者が減収となっています。

■ 売上高の状況（建設業）



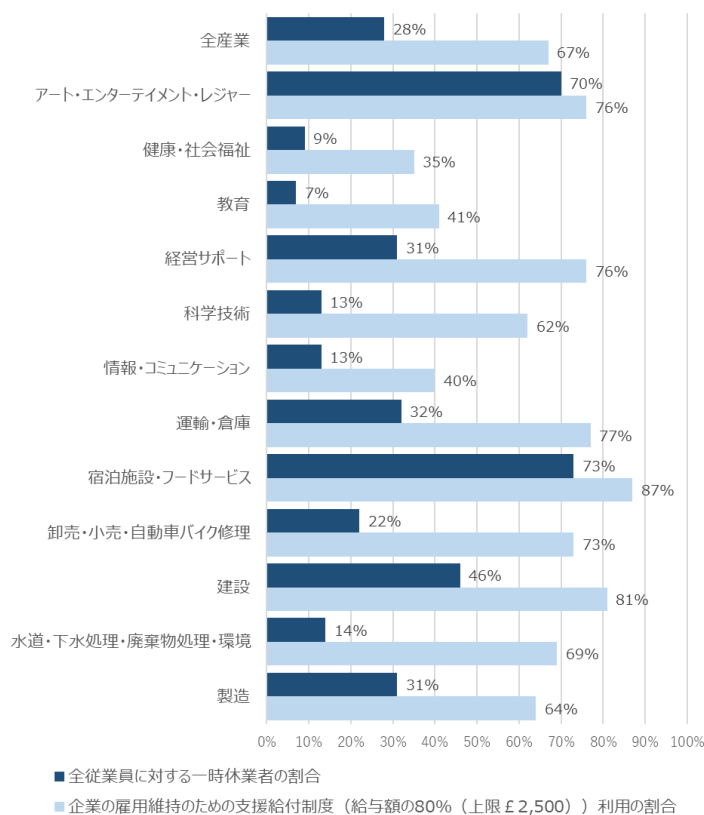
エンターテインメント・レジャー産業も約8割が減収、ホテル・レストラン産業も約7割が減収となっており、政府の各種支援策により事業が継続できている状況です。

雇用維持のための対応状況

英政府は雇用を守るため、外出禁止令から3日後の3月26日に事業者に対し雇用維持のため、一時休業とした従業員給与の80%（上限2,500ポンド（約33万円）を最大3ヶ月間給付する支援制度を設けました。

英国統計局の調査では、全産業の2/3の事業者がこれ申請しており、全従業員の28%が一時休業となっています。

■ 従業員の一時休業と雇用維持の支援給付制度利用割合



英国政府は3月上旬の段階では、免疫を持つ人を一定割合まで増やして感染拡大を防ぐ「集団免疫」を獲得する戦略であったため、イタリアから2週間、スペインやフランスからは1週間遅れての外出禁止令発出となり、出口戦略のタイミングも遅れものと考えられ、経済の耐久性が懸念されます。

以上

本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
 ご利用に関しては、すべてお客さまご自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
 本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
 本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
 本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。